

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公開番号】特開2017-125219(P2017-125219A)

【公開日】平成29年7月20日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2017-87878(P2017-87878)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/40 (2018.01)

【F I】

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月30日 (2017.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単量体成分を乳化重合させてなるエマルション粒子を含有するトップコート用樹脂エマルションであって、前記単量体成分に対する反応性を有するアニオン性乳化剤と前記単量体成分に対する非反応性を有するアニオン性乳化剤とを含有し、前記単量体成分に対する非反応性を有するアニオン性乳化剤がポリオキシアルキレン多環フェニルエーテルサルフェートアンモニウム塩であることを特徴とするトップコート用樹脂エマルション。

【請求項 2】

エマルション粒子が複数層で形成され、当該複数層のうち最外層を構成する樹脂の原料が単量体成分に対する反応性を有するアニオン性乳化剤と単量体成分に対する非反応性を有するアニオン性乳化剤とを含有する請求項 1 に記載のトップコート用樹脂エマルション。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のトップコート用樹脂エマルションを含有してなる塗料用樹脂組成物。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の塗料用樹脂組成物を含有してなるトップコート。

【請求項 5】

単量体成分を乳化重合させてなるエマルション粒子を含有するトップコート用樹脂エマルションを製造する方法であって、前記単量体成分に対する反応性を有するアニオン性乳化剤および前記単量体成分に対する非反応性を有するアニオン性乳化剤の存在下で前記単量体成分を乳化重合させる際に、前記単量体成分に対する非反応性を有するアニオン性乳化剤としてポリオキシアルキレン多環フェニルエーテルサルフェートアンモニウム塩を用いることを特徴とするトップコート用樹脂エマルションの製造方法。

【請求項 6】

樹脂エマルションに含まれるエマルション粒子を複数層で形成させる際に、当該複数層

のうち最外層を、単量体成分に対する反応性を有するアニオン性乳化剤および単量体成分に対する非反応性を有するアニオン性乳化剤の存在下で単量体成分を乳化重合させることによって形成させる請求項 5 に記載のトップコート用樹脂エマルションの製造方法。